

# ムギ類赤かび病情報第1号

令和5年4月4日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

## 防除適期（開花始期～開花期）を逃さないように防除しましょう！

ムギ類赤かび病における感染予防のための防除適期は、開花を始めた時期から開花期（1穂につき数花開花をしているものが、全穂数の40～50%に達した日）までの間です。農業総合試験場作物研究部発表の麦生育診断情報（第3報）によると、3月21日現在、出穂期は平年に比べ「きぬあかり」で3日から10日早く、「ゆめあかり」で4日から7日早いと予測されており、は種の早かった一部のほ場では既に出穂期を迎えています。また、名古屋地方気象台3月30日発表の1か月予報によれば、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

ほ場ごとの生育状況に注意し、表を参考にしながら防除適期を逃さないように防除を実施しましょう。また、前年に本病の発生が多かった地域では、一次伝染源となる越年した病原菌の量が多いと考えられるため、1回目（開花期）の防除から7～10日後に2回目の防除を実施しましょう。

表 ムギ類赤かび病の主な防除薬剤

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	散布	1
	トップジンMゾル				
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	3
小麦	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	散布	7
	チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	散布	3
	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	散布	3
大麦	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	散布	7

### （無人航空機用）

作物名	薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	FRACコード
小麦	トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内 (出穂期以降は2回以内)	無人航空機 による散布	1
	チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	3
	ミラビスフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	7
大麦	ワークアップフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機 による散布	3
	チルト乳剤25	収穫21日前まで	1回	無人航空機 による散布	3
	シルバキュアフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	3
大麦	ミラビスフロアブル	収穫14日前まで	2回以内	無人航空機 による散布	7

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code\\_pdf01\\_2022.pdf](https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/code_pdf01_2022.pdf)を参照する。

薬剤の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守り、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。